



関東管内の六次産業化・地産地消費に基づく 総合化事業計画認定事業者の取組事例

【販売を開始し、概ね計画通りに進捗している事業者の事例】

令和2年3月

関東農政局

関東管内の六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画認定事業者の取組事例
 【販売を開始し、概ね計画通りに進捗している事業者の事例】(令和2年3月) 栃木県

栃 木：22件

| 県番号 | 都県 | 市町村 | 事業者名 | 事業名 | 認定日 | ページ番号 |
|-----|-----|---------|------------------|--|-------------|---------|
| B1 | 栃木県 | 那須郡那須町 | 有限会社那須高原今牧場 | (有)那須高原今牧場における自家産原乳及び山羊乳を利用したチーズ製造・販売事業 | 平成23年5月31日 | 2 |
| B2 | 栃木県 | 矢板市 | 加藤 隆重 | 加藤農園の手作りフルーツジャム製造・販売 | 平成24年2月29日 | 3 |
| B3 | 栃木県 | 那須郡那珂川町 | 有限会社星種豚場 | 種豚の育種、改良を目指したハム・ソーセージ・精肉の製造・販売 | 平成24年2月29日 | 4 |
| B4 | 栃木県 | 栃木市 | 坂本 政明 | 地元産100%の「餅・おこわ」商品製造・販売による「古里の味水車食房」のブランド化 | 平成24年10月31日 | 5 |
| B5 | 栃木県 | 那須郡那珂川町 | 岩村 文郎 | 自家生産大豆を活用した味噌、豆腐の新商品開発 | 平成24年10月31日 | 6 |
| B6 | 栃木県 | 大田原市 | 発田 亮 | ブルーベリー観光体験農園での摘み取り販売及びジャムの製造販売 | 平成25年5月31日 | 7 |
| B7 | 栃木県 | 芳賀郡芳賀町 | 金田 正 | 「完熟にっこり梨」を使った地サイダー・あめの新商品開発と製造・販売事業 | 平成24年10月31日 | 8 |
| B8 | 栃木県 | 鹿沼市 | 株式会社ファーム横尾 | 自家生産した安全、安心な和牛の直売事業 | 平成25年5月31日 | 9 |
| B9 | 栃木県 | 那須郡烏山市 | 大野果樹農園 大野 博康 | 和なしと人参を使用した漬けタレ、ドレッシングの加工食品開発 | 平成25年5月31日 | 10 |
| B10 | 栃木県 | 真岡市 | 野口いちご園 野口喜一郎 | 野口いちご園の「とちおとめ」を用いた「いちごミルクのもと」の開発・販売事業 | 平成26年10月31日 | 11 |
| B11 | 栃木県 | 塩谷郡塩屋町 | 株式会社和氣ふぁーむ | 自家産もち米を用いた「杵つき餅」の製造及び販売事業 | 平成27年5月29日 | 12 |
| B12 | 栃木県 | さくら市 | 株式会社和みの社 | 自社産さつまいもを用いた「焼き干しいも」と「冷やし焼いも」の開発・販売事業 | 平成27年10月30日 | 13 |
| B13 | 栃木県 | 下都賀郡壬生町 | 島田養蜂園 島田 誠一 | 自家生産したはちみつと地元農家のフルーツを用いた「さとの果実(果実のはちみつ漬け)」の開発・販売事業 | 平成27年10月30日 | 14 |
| B14 | 栃木県 | 芳賀郡茂木町 | 農事組合法人そばの里まぎの | 「そばの里まぎの」のそばと黒豆を用いた「そば黒豆ブレンド茶」「そば焼酎」の開発・加工・販売事業 | 平成26年3月31日 | 15 |
| B15 | 栃木県 | 小山市 | 農業生産法人株式会社篠原ファーム | 篠原ファームの自社産「いちご」を用いた「いちごスイーツ」開発と直売事業 | 平成26年5月30日 | 16 |
| B16 | 栃木県 | 宇都宮市 | 有限会社卵明舎 | 自家生産のこだわり卵を活かした「スイーツ&デリカ」の開発・販売による卵の魅力発信拠点構築事業 | 平成28年8月31日 | 17 |
| B17 | 栃木県 | 小山市 | 小山だちょう園 片柳 雄大 | 栃木県産の大麦・桑の葉等を活用して育てた「ダチョウ肉」の「ソーセージ」加工・販売事業 | 平成28年8月31日 | 18 |
| B18 | 栃木県 | 日光市 | 半田 耕一 | 自家生産玄そばを使用した「日光鶴亀手打ち蕎麦生麺」と「日光鶴亀蕎麦プリン」の開発及び販売事業 | 平成29年3月31日 | 19 |
| B19 | 栃木県 | 那須郡那須町 | 青葉屋 平山 輝貴 | 那須高原で育てた青じそを使った新商品開発・販売事業 | 平成29年3月31日 | 20 |
| B20 | 栃木県 | 小山市 | 社会福祉法人パステル | 社会福祉法人パステルが栽培する桑の葉を用いた「パウダー・麺類・スイーツ」の加工・販売事業 | 平成27年2月27日 | 21 新 |
| B21 | 栃木県 | 下野市 | 株式会社 野村牧場 | 株式会社野村牧場の「牛肉・特製うまいもんシリーズ」及び「精肉」の加工・販売事業 | 平成27年2月27日 | 22 新 |
| B22 | 栃木県 | 栃木市 | 小林一夫ぶどう園 小林宏明 | 自社生産の巨峰とマスカットベリー-Aを用いた「こだわりぶどうジュース」の開発・販売事業 | 平成27年5月29日 | 23 新 |

【 事業名 】

(有)那須高原今牧場における自家産原乳及び山羊乳を利用した
チーズ製造・販売事業

事業者名 有限会社 那須高原今牧場

代表者氏名 代表取締役 いま こういち 今 耕一

所在地 栃木県那須郡那須町大字高久甲5898

主な事業 酪農及び受精卵移植による和牛の生産・販売

電話番号 0287-74-2580(チーズ工房)

ホームページ <http://www.ima-farm.com/>



チーズ工房

【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 牧場内にチーズ工房を整備し、自ら生産した牛及び山羊の生乳を活用したチーズの製造・販売を行い、「那須高原の牧場産チーズ」というブランド化を目指す。
- 平成24年4月から、フレッシュチーズ、セミハードチーズ、ウォッシュチーズ、山羊のチーズ(季節限定)等、順次製造販売を開始。自社チーズ工房、インターネット、道の駅、ホテル、観光施設等で販売中。

【 今後の予定 】

- レストラン等への食材提供に加え、ギフト・お土産品等として首都圏の百貨店を中心に販路の拡大を行い、リピーターの確保を目指す。
- 牛乳によるハードタイプのチーズを試作中であり、今後の販売を目指す。
- 国内ではあまり知られていない、フレッシュタイプのチーズの普及を目指す。

【 実施体制 】

- 責任者
高橋 雄幸
- 製造・販売者
高橋 雄幸
高橋 ゆかり



茶臼岳(山羊の熟成チーズ)
季節限定商品(5月~11月)

【 事業名 】

加藤農園の手作りフルーツジャム製造・販売

事業者名 株式会社 加藤農園
 代表者氏名 代表取締役 かとう ひろき 加藤 博樹
 所在地 栃木県矢板市長井1333
 主な事業 りんごの生産・販売
 電話番号 0287-43-1177
 ホームページ <http://www.k-apple.com>
 (加藤農園)



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自ら生産したりんご、キウイフルーツ等の果物を原材料とした「ジャム(りんご・キウイ・ブルーベリー・梅)」、「りんごコンポート」の製造・販売を行う。
- 「ジャム」、「りんごコンポート」は、平成24年4月から加藤農園直売所、道の駅、農産物直売所、スーパー、百貨店、東京ソラマチとちまるショップ、インターネット等で販売中。また、新たに「林檎バター」「りんごのブラッセ」を開発し、販売を開始した。
- 29年1月に法人化し、さらなる経営の発展を目指す。

【 今後の予定 】

- りんご、りんごジュース(既存品)とともに、ジャム、コンポート(新商品)を販売し、売上げを伸ばし経営の充実を図る。
- 県外の商談会に積極的に参加し、首都圏のスーパー等への販路拡大を図る。



加藤農園 直売所

【 実施体制 】

- 責任者
加藤農園
代表 加藤 博樹
- 商品開発・製造者
加藤 博樹

【 事業名 】

種豚の育種、改良を目指したハム・ソーセージ・精肉の製造・販売

事業者名 有限会社 星種豚場

代表者氏名 代表取締役 ほし まさ み 星 正美

所在地 栃木県那須郡那珂川町馬頭2444

主な事業 種豚・人工授精用精液の販売

電話番号 0287-92-2220

ホームページ <http://bato-ham.com>



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自社で育種・改良を行った豚肉を使用して、ハム、ソーセージ等の加工品と精肉、惣菜の販売を行う。筋中脂肪(サシ)が入る系統を確立させ、生年月日、飼料等生産履歴を消費者に情報開示することで、一般精肉との差別化を進める。
- ハム・ソーセージ等の加工品は、道の駅、県内及び都内の百貨店、レストラン、インターネット等で販売中。また、自社店舗内で精肉、ぎょうざ、ハンバーグを販売開始。

【 今後の予定 】

- 県内の農産物を使用した新たな加工品開発を行う。
- 種豚の育種・改良を目指すためのデータ収集を行い、開示に向け準備中。



【 実施体制 】

- 責任者
(有)星種豚場
- 商品開発
ばとう手づくりハム工房
- 販売促進
(有)星種豚場
ばとう手づくりハム工房

【 事業名 】

地元産100%の「餅・おこわ」商品製造・販売による「古里の味
水車食房」のブランド化

事業者名 さかもと まさ あき
坂本 政明

所在地 栃木県栃木市西方町元1454

主な事業 米の生産・販売

電話番号 0282-92-2016



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自家生産したもち米「モチミノリ」を使用して、「切り餅(白・海苔・玄米)」、自家及び地元農家の季節野菜を加えた「季節のおこわ(山菜・筍・栗・野菜)」等を製造・販売し、「古里の味水車食房」のブランド化を確立する。
- 平成24年11月から「切り餅(白・海苔・玄米)」、「季節のおこわ(山菜・筍・栗・野菜)」の製造・販売を開始し、「地元産・無添加」で「美味しく、また食べたい」という品質と手頃感をアピールしている。

【 今後の予定 】

- パッケージに工夫を加えることにより、ブランドイメージを確立し、直売所での更なる販売展開を図る。
- 商品のバリエーションを増やし、更なる売上げの増加を図る。



【 実施体制 】

- 責任者
坂本 政明
- 商品開発
坂本 富江
坂本 政明
木村 幸世

【 事業名 】

自家生産大豆を活用した味噌、豆腐の新商品開発

事業者名 いわむら ふみお
岩村 文郎

所在地 栃木県那須郡那珂川町松野570

主な事業 水稻、麦、大豆、そばの生産・販売

電話番号 0287-92-5429



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自家生産した米、大豆を使用した「味噌」、「豆腐」の開発・製造・販売を行うことにより、農業経営の改善を図る。
- 平成25年4月に加工所を整備し、同年7月から豆腐を、平成26年12月から味噌を自社店舗、農産物直売所で販売中。
- 静岡県沼津市から取り寄せた本にがりのみを使用した豆腐を製造・販売中。

【 今後の予定 】

- インターネット販売、旅館、食堂等、販売先を拡げ、販路拡大を目指す。
- 豆腐作り体験等、消費者が参加できる豆工房づくりに取り組む。

【 実施体制 】

- 責任者
岩村 文郎
- 商品開発・製造者
岩村 文郎
岩村 陽子



【 事業名 】

ブルーベリー観光体験農園での摘み取り販売及びジャムの製造販売

事業者名 ほんた りょう
発田 亮

所在地 栃木県大田原市南金丸1499-7

主な事業 水稻、ブルーベリーの生産・販売

電話番号 0287-24-3559



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自家生産したブルーベリーを活用したブルーベリージャムや加工用冷凍ブルーベリーの製造・販売、ブルーベリーの摘み取り販売を行い、所得の向上を図る。
- 平成25年10月から冷凍ブルーベリー、26年1月からブルーベリージャムを道の駅、農産物直売所で販売、28年から首都圏のスーパー等でも販売中。

【 今後の予定 】

- インターネット販売、販路の拡大、摘み取り販売の増加を目指す。
- 新たな商品(ミックスジャム、はちみつ)を開発したので、従来のジャムやブルーベリージュースと併せて販売し、売上げの増加を目指す。



【 実施体制 】

- 責任者
発田 亮
- 商品開発・販売促進
発田 亮

【 事業名 】

「完熟にっこり梨」を使った地サイダー・あめの新商品開発と製造・販売事業

事業者名 かね だ ただし
金田 正

所在地 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1726-3

主な事業 果樹作農業

電話番号 028-677-1429

ホームページ <http://kanedafarm.jimbo.com/>



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自家生産した「完熟にっこり梨」の特性を最大限活用した加工品を開発・販売し、栃木県の梨「にっこり」の知名度向上とブランドを確立することにより、経営の安定と発展を図る。
- 平成25年5月より、商品名「とちぎにっこり梨の祭だー」として自家農園直売所や道の駅、観光地、通信販売等で販売を開始した。「とちぎ農業ネットワーク企業組合」の協力を得ながら販路拡大中。

【 今後の予定 】

- 現在、試作段階にある「完熟にっこり梨の飴」の商品化を目指す。
- 加工場を新設し、新たな加工品を開発することにより、更なる農業の高付加価値化を目指し、売上げの増加を図る。



【 実施体制 】

- 責任者
金田 正
- 商品開発
金田 正
金田美香

【 事業名 】

自家生産した安全、安心な和牛の直売事業

事業者名 株式会社ファーム横尾

代表者氏名 代表取締役 ^{よこ お みつ ひろ} 横尾 光広所在地 栃木県鹿沼市久野832-1
主な事業 黒毛和牛の生産、水稻及び精肉直売
電話番号 0289-85-2338
ホームページ <http://www.ushiyanonikuya.com>

【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自家生産した黒毛和牛の精肉を新設する直営店舗で、和牛のプロならではの部位ごとのおいしい食べ方を消費者等に提案しながら直接販売することにより、経営の安定及び黒毛和牛の消費拡大を図る。
- 平成26年5月、直営店舗をオープンし精肉の販売事業を開始した。黒毛和牛の高級精肉だけでなく、他の畜産物や地域の農産物を活用した惣菜等を販売することにより、地域の活性化にも貢献。

【 今後の予定 】

- 安全・安心をさらに明確にアピールするため、農場HACCPの取得を目指す。
- さらなる経営安定を図るため、繁殖からの完全一貫生産(100%)体制を構築する。



【 実施体制 】

- 責任者及び肥育生産
代表取締役 横尾光広
- 牛肉販売・加工部門
取締役 横尾 勉

【 事業名 】

和なしと人参を使用した漬けタレ、ドレッシングの加工食品開発

事業者名 大野果樹農園

代表者氏名 おおの ひろやす
大野 博康所在地 栃木県那須烏山市大桶1798
主な事業 梨、人参、水稻の生産・加工・販売
電話番号 0287-84-1798

【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 大野果樹農園のブランド力と収益改善のため、栽培している和なしの規格外品と人参を活用した肉を柔らかくする漬けタレ、及び特色あるドレッシングを開発・販売する。
- 平成27年1月から、タレ、ドレッシング製造販売を開始。スーパーマーケット、道の駅、直売所等で販売中。同じく平成27年から梨のコンポート、ジュース、カレーの商品を開発し、販売を開始。

【 今後の予定 】

- 和なしや野菜の取引先である飲食店、スーパーマーケットのニーズを受け、商品の工夫を加えていく。
- 洋なしの需要も見込まれることから、作付けの拡大と商品開発に取り組み、さらなる売上げの増加を目指す。
- イベント等に積極的に参加して、消費者の反応をつかみながら商品開発に取り組む。



にんじんドレッシング

なし屋さんのたれ



【 実施体制 】

- 責任者 大野博康
- 商品開発 大野博康、大野由佳、大野光子
- 販売促進 大野博康、大野由佳

【 事業名 】

野口いちご園の「とちおとめ」を用いた「いちごミルクのもと」の
開発・販売事業

事業者名 野口いちご園

代表者氏名 のぐち かずき
野口 一樹

所在地 栃木県真岡市境995-1
主な事業 野菜作農業(いちご)
電話番号 0285-74-1082



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自家生産した新鮮な「とちおとめ」をふんだんに使用したいちごの濃縮液「いちごミルクのもと」を開発・販売することにより、通年での安定的な売上げを確保し、所得の向上及び付加価値の高い農業経営を目指す。
- 収穫期に朝取りしたいちごを冷凍保存し、外部の清涼飲料水加工場の施設で加工する。平成26年12月より道の駅「にのみや」において販売を開始、現在5箇所の農産物直売所及び外食店などの業務用等として販路を拡大している。

【 今後の予定 】

- 商談会等に積極的に参加し、バイヤーや消費者の意見・動向を踏まえ、容器や量目等の更なるブラッシュアップを図り、販路拡大に努める。
- 新たな販売方法としてインターネットを利用した通信販売の導入。
- 他業種の事業者とタイアップした新商品の開発・販売。
- 新たに贈答用として化粧箱入り商品の開発・販売。

【 実施体制 】

- 全体責任者
代表 野口一樹
- 加工・販売促進責任者
野口一樹



【 事業名 】

自家産もち米を用いた「杵つき餅」の製造及び販売事業

事業者名 株式会社 和氣ふあーむ
 代表者氏名 代表取締役 ^{わき たつや} 和氣 達哉
 所在地 栃木県塩谷郡塩谷町泉342
 主な事業 水稻、小麦、大豆の生産・加工・販売
 電話番号 0287-45-2111
 ホームページ <http://www.wakifarm.co.jp/>



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自社生産の水稻もち米を活用した「杵つき餅」(白餅、玄米餅(玄米使用)、豆餅(自社産落花生使用))の製造・販売により付加価値生産に取り組み、経営の多角化を行う。
- 平成27年に、アグリフードビジネス支援事業(県単事業)を活用し、もち製造に係る機械等を整備。平成27年12月より自社事務所における直売、県内の生協等の店舗における販売を開始。
- 平成28年に「いきい氣もち」で商標登録。

【 今後の予定 】

- 地元周辺の道の駅やJA直売所、県内のデパートへの販路を拡大するとともに、インターネットを利用した通信販売の導入を図る。
- 餅の長期賞味期限を可能とする製法に取り組む。



杵つき餅(白餅)



杵つき餅(玄米餅)



杵つき餅(豆餅)

【 実施体制 】

- 全体責任者
代表取締役 和氣達哉
- 商品開発責任者
取締役 佐藤洋右
- 加工場
専務取締役 和氣直哉、取締役 佐藤洋右、磯 健太郎
- マーケット調査
取締役会長 和氣勝英、取締役 佐藤洋右
- 販売促進
専務取締役 和氣直哉、取締役 佐藤洋右
- 販売協力
和氣麻美

【 事業名 】

自社産さつまいもを用いた「焼き干しいも」と「冷やしやきいも」の
開発・販売事業

事業者名 株式会社 和みの杜
 代表者氏名 代表取締役 ^{たかの}高野 ^{かずひさ}和久
 所在地 栃木県さくら市早乙女2726-1
 主な事業 さつまいもの生産・加工・販売
 電話番号 028-686-1831
 ホームページ <http://www.nagomino-mori.com>



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自社生産したさつまいもを活用し、「焼き干しいも」、「冷やし焼きいも」を製造・販売して生産・加工・販売の一貫体制を築き、販売ルートの拡大を図り、付加価値の高い農業経営と所得の向上を図る。
- 平成29年10月、さつまいもの定温貯蔵倉庫及びキュアリング加工施設を新設したことにより、年間を通じた加工・販売が実現。

【 今後の予定 】

- さつまいも生産の規模拡大を図る（現状3haから5haへ拡大）。
- 生産している野菜類の品目を増加させ、セット野菜として販売を展開する。

【 実施体制 】

- 責任者
代表取締役 高野和久
- 生産
代表取締役 高野和久
取締役統括部長 益子暁彦、郷間英男
- 商品開発
代表取締役 高野和久
- 加工場
代表取締役 高野和久
取締役統括部長 益子暁彦
- 販売促進部
取締役統括部長 益子暁彦、郷間英男



焼き干しいも

【 事業名 】

自家生産はちみつと地元農家のフルーツを用いた「さとの果実
(果物のはちみつ漬け)」の開発・販売事業

事業者名 島田養蜂園
しまだ せいいち
代表者氏名 島田 誠一
所在地 栃木県下都賀郡壬生町表町11-13
主な事業 養蜂、はちみつの加工・販売
電話番号 0282-82-8389



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自ら生産した「はちみつ」を原料に、地元農家で生産される「いちご、ゆず、梅、ブルーベリー」など季節の果物を用いた「さとの果実(果物のはちみつ漬け)」を開発し、「自園直売所」等で販売、既存顧客の満足度向上や地産地消を目指す。
- 平成28年1月より自社直売所において直売を開始。また、同年3月より地元百貨店の通信販売サイトで販売開始。
- 平成29年より、壬生町のふるさと応援寄付金の贈呈品として取扱いを開始。

【 今後の予定 】

- 県内外の食品展示会や商談会等に積極的に参加し、販路拡大に取り組む。
- 近隣の観光農園の協力を得て、はちみつ商品の更なる販売促進を図る。



【 実施体制 】

- 全体責任者
代表 島田誠一
- 商品開発責任者
代表 島田誠一
- 加工場
島田弘子
- マーケット調査
代表 島田誠一
- 販売促進
代表 島田誠一、島田弘子
- 販売協力
道の駅しもつけ
那須千本松牧場

【 事業名 】

「そばの里まぎの」のそばと黒豆を用いた「そば黒豆ブレンド茶」
「そば焼酎」の開発・加工・販売事業

事業者名 農事組合法人 そばの里まぎの

代表者氏名 こくの かずお 穀野 一男

所在地 栃木県芳賀郡茂木町大字牧野249

主な事業 そば、黒豆の加工・販売、
農家レストラン運営

電話番号 0285-62-0333



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自ら生産したそば及び黒豆を活用した「そば黒豆ブレンド茶」と「そば焼酎」の開発・販売を行うことにより、農業の高付加価値化と経営の安定化を図り、牧野地区の知名度と集客力の向上を目指す。
- 平成29年3月より運営するレストランにおいて「そば黒豆ブレンド茶」の直売を開始。
- 平成29年7月より、運営するレストラン、道の駅等で「そば焼酎」の販売を開始。

【 今後の予定 】

- 農業生産、農村レストランの後継者の確保
- 販路の拡大(後継者の確保ができれば)

【 実施体制 】

- 全体責任者
代表理事 穀野一男
- 商品開発責任者
店長 石川修子
- パッケージ開発
店長 石川修子
- 販売促進
店長 石川修子
- 原料(玄そば)供給責任者
代表理事 穀野一男



【 事業名 】

篠原ファームの自社産「いちご」を用いた「いちごスイーツ」開発と直売事業

事業者名 農業生産法人
株式会社 篠原ファーム
しのはら ひろあき
代表者氏名 篠原 宏明
所在地 栃木県小山市小薬354番地
主な事業 いちごの加工・販売
電話番号 0285-37-1931



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自社生産のいちごを活用し、スイーツ(ジェラート、ケーキ、焼き菓子)等の製造・販売及び自社生産のいちごの直売により、付加価値の高い農業経営を目指し、所得の向上と雇用の拡大を図る。
- 平成29年6月より自社店舗においてスイーツ(ジェラート、ケーキ、焼き菓子)等の販売を開始。地域のパンケーキ店からジェラートの引き合いがあり販売中。

【 今後の予定 】

- いちごの選果場及び直売所の建設。
- 自社店舗二号店(甘味処)の出店。
- 更なる新商品の開発・販売。

【 実施体制 】

- 総合責任者
代表取締役 篠原 宏明
- 店舗設計・プロデュース
代表取締役 篠原 宏明、鈴木 和貴
篠原 和香子
- スイーツ部門責任者
鈴木 由佳
- 商品開発担当
鈴木 由佳、篠原 和香子
- 経理担当
篠原和香子



【 事業名 】

自家生産のこだわり卵を生かした「スイーツ&デリカ」の開発・販売による卵の魅力発信拠点構築事業

事業者名 有限会社 卵明舎
 代表者氏名 代表取締役 寺内 昌文
 所在地 栃木県宇都宮市針ヶ谷町277番1号
 主な事業 鶏卵の加工・販売
 電話番号 028-653-6461



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自社生産の高級卵(磨宝卵GOLD)を活用し、新商品(プリン、たまごタルト、マヨネーズ、卵焼き)の開発・販売を行い、女性を中心とした若年層の新規開拓を目指す。また、既存直売所をリニューアルし地域農産物等の直売も併せて行い、農業経営の更なる向上、雇用の拡大及び地域の活性化を図る。
- 平成28年8月より新商品(プリン、マヨネーズ)の販売を開始。
- 平成30年7月より大宮駅構内に新店舗を開設。

【 今後の予定 】

- 新商品(タマゴタルト、厚焼き卵)の商品化・販売。
- 更なる新商品の開発に取り組む。

【 実施体制 】

- 全体責任者
代表取締役 寺内 昌文
- 商品開発責任者
寺内 勝利
- 加工責任者
寺内 勝利
- 事業推進
牛草 浩和
- 販売推進
寺内 勝利、牛草 浩和
- 原料責任者
寺内 昌文



【 事業名 】

栃木県産の大麦・桑の葉等を活用し育てた「ダチョウ肉」の
「ソーセージ」加工・販売事業

事業者名 小山だちょう園

代表者氏名 かたやなぎ ゆうだい 片柳 雄大

所在地 栃木県小山市喜沢632番39号

主な事業 ダチョウ、ダチョウ卵の加工・販売

電話番号 0285-25-4451



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 地域の特産品である桑の葉や栃木県産の飼料で育てたダチョウ肉を用いて「ソーセージ」の開発・販売を行う。健康や美容の意識の高い消費者をターゲットとし、自園の経営の安定、所得の向上を目指す。併せて、新商品の副原料に地域特産品を使用することにより、地域の活性化と地域ブランドの向上を図る。
- 平成29年より自社販売を開始。

【 今後の予定 】

- ダチョウの増頭。
- (公社)栃木県観光物産協会が推奨する「とちぎ特産品」に申請。
- 更なる新商品(ローストビーフ風)を開発予定。

【 実施体制 】

- 全体責任者
片柳 雄大
- 原料生産責任者
片柳 雄大
- レシピ開発及び加工責任者
片柳 雄大
- 販売推進・マーケット調査
片柳 雄大



【 事業名 】

自家生産玄そばを使用した「日光鶴亀手打ち蕎麦生麺」と「日光鶴亀蕎麦プリン」の開発及び販売事業

事業者名 はんだ こういち
半田 耕一

所在地 栃木県日光市岩崎1292-1
主な事業 蕎麦の加工・販売
電話番号 0288-27-0629



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自ら生産した玄そばを活用し、「蕎麦生麺」及び「蕎麦プリン」の開発・販売を行う。新たに3期作に取り組むことにより、玄そばの生産向上を図りつつ、年3回味わうことができる「新そば」を訴求しながら自家そば店舗や道の駅等で販売を行い所得の向上、経営の安定化を目指すと共に「日光そば」のブランド力の向上及び地域の活性化を図る。
- 平成29年4月より「蕎麦生麺」及び「蕎麦プリン」の販売を開始。
- 平成30年11月、玄そば生産において、「とちぎGAP」(県GAP)認定。

【 今後の予定 】

- 東京オリンピック及びパラリンピックにおける食材提供を目指す。
- 更なる新商品の開発に取り組む。



【 実施体制 】

- 全体責任者
半田 耕一
- そば生産・商品開発・加工責任者
半田 耕一
- 販売促進
半田 耕一

【 事業名 】

那須高原で育てた青じそを使った新商品開発・販売事業

事業者名 青葉屋

代表者氏名 ひらやま てるたか
平山 輝貴

所在地 栃木県那須郡那須町大字高久甲1994

主な事業 野菜の加工・販売

電話番号 0287-64-4831



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自ら生産した青じそを活用し、「青じそ漬け物加工品(青じそ辛味漬け、青じそさっぱり漬け、青じそニンニク漬け、しその実漬け)」の商品開発を行う。商品コンセプトを「那須高原の豊かな自然に育まれた青じそを、ご飯のお供や薬味として手軽にいただける健康惣菜」とし、那須高原を訪れる家族連れやシニア世代、栃木県内の道の駅を訪れる主婦層をターゲットに販売することで、冬期の収益改善を図り、所得の向上及び経営の安定化を目指す。
- 平成29年7月より道の駅の直売所で販売開始。

【 今後の予定 】

- 「青じそ漬け物加工品」(青じそさっぱり漬け、青じそニンニク漬け)の開発に取り組む。
- 自ら生産するしそ以外の野菜を活用し、減塩の漬け物の開発に取り組む。

【 実施体制 】

- 責任者
平山輝貴
- 青じそ生産
平山輝貴、平山泰紀
- 商品開発
平山輝貴、平山美智子、平山ミチ
- 加工場
平山輝貴、平山美智子、平山ミチ
- 販売促進
平山輝貴、平山泰紀
- パッケージデザイン
佐藤健夫



【 事業名 】

社会福祉法人パステルが栽培する桑の葉を用いた「パウダー・
麺類・スイーツ」の加工・販売事業

事業者名 社会福祉法人パステル
いしばし としかず
 代表者氏名 理事長 石橋 俊一
 所在地 栃木県小山市大字乙女625-2
 主な事業 野菜生産・加工・販売
 電話番号 0285-39-6088



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 地域で古くから盛んであった養蚕業に着目し、耕作放棄地等を再利用して生産した桑の葉を活用して地域色豊かなパウダー、うどん、焼き菓子等の商品開発を行う。
- 平成29年に新たに開設した就労継続支援B型(非雇用型)事業所に加工場やレストランを併設し、自ら生産した野菜等を原材料とした料理の提供や桑の葉加工品等の販売を開始。
- コミュニティー施設を一部開放し、地域住民と交流を図り、障害者への理解を深めてもらうと同時に自立に向けた活動に取り組む。
- 商品の訴求力を向上させるため、「ノウフクJAS認証」を取得。(NKS0010)

【 今後の予定 】

- 近隣の離農者から農地を借り受け耕作放棄地を解消するなど、農業を通じた地域との連携を強化する。
- 地域の伝統産業(養蚕業)と福祉の連携「伝福連携」を目指すため、新たに桑茶加工場を建設し、障害者による地域社会貢献を具体化する。

【 実施体制 】

- 全体責任者
常務理事 石橋須見江
- 商品開発責任者
飯島洋輔
- 加工場責任者
飯島洋輔
- 販売促進・企画
営業部長 渡邊孝善



【 事業名 】

株式会社野村牧場の「牛肉・特製うまいもんシリーズ」及び「精肉」の加工・販売事業

事業者名 株式会社 野村牧場
 代表者氏名 代表取締役 ^{のむら しゅんいち} 野村俊一
 所在地 栃木県下野市絹板568
 主な事業 畜産業(肉用牛)、食肉小売業
 電話番号 0285-49-0554



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 自社生産した牛肉を外食店への卸販売の他、消費者への直売を行う。
- 平成30年、消費者が牛肉を手軽に美味しく食卓で堪能できるように市街地に新たに直売店を開設、併せてコロッケやメンチなどの惣菜類の販売を開始。
- 平成31年、農場HACCPを取得し、取引先や消費者に対し自社農場の安全・安心をアピールすることにより、新規顧客を獲得。また、衛生管理面の強化により生産性の向上を図る。

【 今後の予定 】

- 新たな新商品として自社産牛肉をふんだんに使った「レトルトカレー」を開発し、販売アイテムの増加及び自社産牛肉の高付加価値化により収益の向上を目指す。
- 畜産GAPを実践することで環境保全や従業員の意識向上、労働安全の改善に取り組み、働きやすい職場環境を目指し作業の効率化を図る。

【 実施体制 】

- 全体責任者
代表取締役 野村俊一
- 原料生産責任者
代表取締役 野村俊一
- 商品開発及び加工責任者
取締役 野村実佳子
- 販売責任者
取締役 野村実佳子



【 事業名 】

自家生産の巨峰とマスカットベリーAを用いた「こだわりぶどうジュース」の開発・販売事業

事業者名 小林一夫ぶどう園 小林宏明

こばやし ひろあき

代表者氏名 小林 宏明

所在地 栃木県栃木市大平町西山田1568

主な事業 果樹作農業(ぶどう観光農園)

電話番号 0282-43-3848



【 認定計画の概要と進捗状況 】

- 樹上で完熟させた生食用としても販売可能な自家産ぶどうを使用して「こだわりぶどうジュース」を開発・販売する。
- 素材からこだわったホンモノのジュースを販売することで他との差別化を図り、所得の向上と付加価値の高い農業を目指す。
- ぶどうジュースがメディアを通して多方面で取り上げられたため、ぶどう園全体のイメージアップと来客数の増加につながった。
- 観光業者とのタイアップにより、収穫シーズン以外のぶどう畑を活用したヨガ体験等のイベントを開催し、地域活性化と新たな顧客の確保等を図っている。

【 今後の予定 】

- 直売により把握した顧客ニーズが強い品種を厳選し、更なる品質向上を図る。
- SNS等により、こだわりの栽培方法など商品の付加価値となる部分をアピールする。
- 商品パッケージ等に独自のロゴマークを付し、“自農園ブランド”の確立により、差別化を図る。

【 実施体制 】

- 全体責任者
小林宏明
- 商品開発
小林美香
- 販売促進
小林美香
- 原料責任者
小林宏明、小林真理子
小林美香

